

# スペースデザインカレッジ

## 「町家改修案コンペ展」 開催報告&投票結果発表



スペースデザインカレッジ東京校・京都校、スペースデザイン設計科2年生による町家改修案コンペ展を4月25日～30日に開催いたしました。この取り組みも13年目を迎え、今回の舞台は路地が魅力的で、2アクセス可能な4軒の町家。現在は空き家になっているこの町家を保存・再生すること、地域との関わり方を考慮した提案、各グループ思い思いの「使い方」を表現しました。4月21日には関係者の皆さまにプレゼンテーションを行い、講評していただきました。会期中は、多くの方にお越しいただき、120票を超える数の投票をいただきましたことを心より御礼申し上げます。この場をお借りして結果報告をいたします。

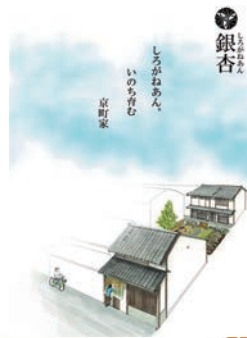


### 第1位

Bグループ／小室風歌 原田拓宜 福田恭子(京都校)

### いのち育む京町家

この学区のシンボルツリーはイチヨウだったそうです。そのイチヨウの木の周りに子供たちが集まり、すくすくと育っていったことと想像します。その光景をもう一度再現したい、そしてこの場所で新しいことを学び、育むことでその経験を将来に少しでも活かしてほしいと思い『食育、農育、保育』の三つのゾーンに分けて提案します。



### 第2位

Hグループ／木下修也 宗誠 田中里砂 堀江剛彰(東京校)



## 東京から京都へ新しい町家のあり方を提案

今回京町家のリノベーションを提案するにあたり、近隣の木工関連の職人や、地域の人が活躍できる場、そして地域の人に利用してもらえるコミュニティ機能を持った京町家の再生を目指しました。食文化体験をテーマに、弁当箱屋、おぼんざい屋、体験工房の3つの空間で区分け、地域や地域外の関わり合いが再生・復元できるように願いを込めて作成しました。



Aグループ／太田瑛梨 蒲池恵実 野口隆之(京都校)

## 地域一体となって作り上げる、 他にはないウェディングシーンを・・・

町家の位置する地域周辺は工芸の町であり、歴史ある呉服屋・和装小物・料亭など結婚式を行うにあたり、最適な特徴を持った商屋さんがあるに点在しています。町家の本来持つ地域コミュニティーを最大限に活かしてこれから先、未来に発達していく町家の在り方として地域一体で行う『町家ウェディング』を提案します。

町家ウェディング



-itonowa-



Cグループ／玉野井菜緒 山元千保 鈴木知詩(京都校)

## 職住一体の集合住宅

該当地域について調べた時に、歴史と文化を重んじ、伝統と暮らしが息づくまちづくりを目指していることから、京都市手仕事の町であるということに着目し、若手職人を対象とした、職住一体の集合住宅『京町家手仕事テラス』を提案します。若手職人が、手仕事を通して地域の方と交流し、活性化につながることを願い、課題に取り組みました。

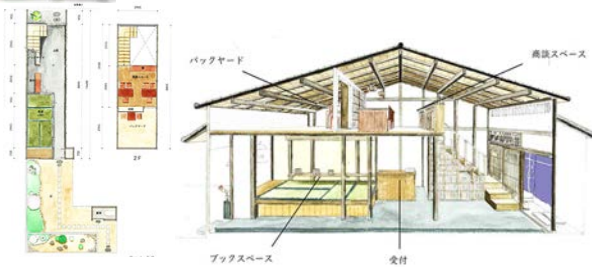
京町家  
手仕事  
テラス



Dグループ／程龍 藤加奈子 石原優輝 向井えりか(京都校)

## 松原旅行代理店「京巡」

テーマを「めぐる」とし、古き良き歴史・町・伝統など様々な京都を「旅行」という視点から発信しめぐって頂こうと考えます。全てのツアーの初めに地域産業体験をして頂き、各名所や関連産業などを回る旅行行程を提案。伝統の結集である町家を知り、人・地域を知ることによって失われつつある京都の伝統を知ることができる、奥深い京都観光を提案することで、生活と文化を継承する京町家を残していきたいと思ひます。



Eグループ／天津一貴 齋藤里奈 中島明日香 村田優人(東京校)

## ウェディング会場 ゆいえん

地域のつながりを大切にする町家で、人と人、家と家をつなげる、ウェディング会場ゆいえんを提案いたします。この場所ならではの少人数でアットホームな結婚式をあげることで、町家＝思い出の地となるような場所を考えました。



Fグループ／小澤雅都 齊藤里穂 竹田菜摘 林田大志 望月星斗(東京校)



## 「和服×スーツ」で 「新しい今日の風景」

今回、京町家の保存と再生にあたり、伝統的な和服と近代的なスーツを織り交ぜたスーツスタイルを京町家で提案することで、「新しい今日の風景をつくりたい」と思い、IDÉAを提案しました。「出逢い」をテーマに「伝統と継承」「人と人」「内と外」「立と座」と4つの出逢いを空間のデザインに設定し、新しい出逢いをIDÉAでという願いをこめ、デザインしました。

Gグループ／金井花音 篠塚瞭 田中千草 藤田紀(東京校)

## 人々の、様々な関係をとつ空間

京都のソトの人々に京都・町家を深く知ってもらうために、関連書籍を中心に置いたライブラリー併設のコーヒースタンドと、京都・町家をもっと堪能したいと考える人々に向けた体験宿泊可能なモデルハウス、その人々にさらに現実的な京都移住をアプローチできるような不動産オフィスを計画しました。



ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

スペースデザインカレッジ